



大図研京都ワンディセミナーのご案内 「大学図書館と生成A I について考える」

ChatGPT をはじめとする生成 AI が急速に話題になり、大学内部では、業務改善に活用しようという話と、レポートの不正（自分でレポート作らずに生成系 AI でレポート作成する）をどう防ぐのかなど議論が高まって、見解を出す大学も出てきています。

こうした中、さっそく ChatGPT を蔵書検索サポーターに実装することの試みを進めているカーリルの代表吉本龍司さんをお呼びして、現在の ChatGPT の手ごたえと今後の可能性についてお話しいただき、その上で、図書館を取り巻く利用者環境の変化と図書館がすべきサービスの高度化などについて自由にお話をさせていただきます。

日 時 : 2023 年 7 月 22 日 (土) 14:00-16:30 (13:30 開場)
会 場 : キャンパスプラザ京都 6F 第1 講習会室
講 師 : 吉本龍司 氏 (株式会社カーリル 代表取締役)
主 催 : 大学図書館研究会京都地域グループ
定 員 : 現地参加 : 先着 40 名(非会員も参加可)
Zoom : 定員なし (会員のみ)
参加費 : 会 員 無料
非会員 500 円

申込フォーム : <https://forms.gle/ikYRaMkCxQ7rYqg59>

申込締切 : 2023 年 7 月 20 日 (木) 19:00

詳 細 : <https://www.daitoken.com/kyoto/event/20230722.html>

[目 次]

大図研京都ワンディセミナーのご案内「大学図書館と生成A I について考える」	…	1
会員挨拶	…	2
会費ご納入のお願い	…	6

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール : kyoto@daitoken.com (大学図書館研究会京都地域グループ)

URL : <http://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

会員挨拶

京都地域グループでは新たにグループに入会くださった皆様にグループ報の場での新入会員挨拶をお願いしておりました。今回久しぶりに、2017年度以降に入会くださった皆様に挨拶を寄稿いただきましたので、ご紹介いたします。

●山田 奈々様 (2021/2022 年度入会)

横浜市出身、青森市在住の山田奈々と申します。

現在の勤務先である青森県立保健大学には 20 年ほど前に就職しました。当時、研修会などは今後オンラインになるだろうから地方に住んでも問題ないと思っていたのですが、実際はそんなこともなく…。まあ、趣味（旅行計画、神社仏閣・美術館巡り）と実益（研修会参加）を兼ねていておトクだなと思いつつ、東京や京都・大阪などの研修会にお邪魔していました。若い頃は寝台列車で朝に青森へ着いて、そのまま出社したことも。

しかし中年になり体力がなくなってきたので、それなら地元でやってみようと青森で勉強会を始めましたものの、体力の余裕がいよいよなくなり、勉強会は休眠状態に。

そこへ COVID-19 が研修会のオンライン開催を連れてきました。オンライン開催は良い面も残念な面もありますが、地方在住者にはやはりありがたいものです。COVID-19 の終息後もオンライン開催が続くことを願っています。

大図研への入会は、青森や東北には地域グループがなくて寂しいし、活発なご活動が眩しい京都地域グループに憧れるものの接点がないからと、長年二の足を踏んでいたのですが、あるとき ARG の岡本さんが、大図研は好きなグループに入っているのだと教えてくださったので、ようやく決心がつけました。どうぞよろしく願いいたします。

最後に、青森市つながりで宣伝を。青森市在住のオラシオさんによる旅行エッセイ『図書館ウォーカー：旅のついでに図書館へ』が日外アソシエーツから発売中です。公共図書館にたどり着く道すがらに地域の日常を垣間見る旅の様子を綴ったもので、読み物としておもしろいですよ～。

やまだ なな

●木村 光 様 (2022/2023 年度入会)

昨年度に入会しました木村 光と申します。

学部生の折から映画と水俣病を主な対象と定め、現在も大学院に在籍し研究活動を継続しています。

加えて、映画館、博物館、美術館、図書館等の文化施設での勤務経験から文化に関わる活動を支援するにあたっての制度設計に強い関心を抱いています。

具体的には、文化への強い関心を持った様々なアクターが利用できる奨学金制度のような形を想定しているのですが、社会・経済的な枠組みの中で如何なる形で成立できるのか検討を重ねています。

また、昨年度末まで勤務していた龍谷大学大宮図書館では、業務委託先の登録スタッ

フとして主に返本業務に従事しました。長く勤務する中で、大学からの一方的且つ人権という面でも問題がある要求を無批判に受け入れてしまう企業姿勢に疑念を抱き、低賃金で人員の流動性が高い雇用状況の改善等を目標に地域の労働組合と大学内の教職員組合の協力を得て、雇用主との団体交渉にも取り組みました。そして、こういったことが影響したのかは定かではありませんが、不本意な形で複数名の同僚と共に雇い止めを告げられ、図書館勤務からは離れてしまいましたが、業務を通じて得られた身近な問題に目を背けないことで、自然な形で社会的な問題へ自らを接続させる視点を大切に可能な範囲で本研究会の活動に関わっていきたく考えています。

活動を通じて、知識・情報と人が取り結ぶ関係性の在り方を皆様と考え合う機会をとでも楽しみにしています。

どうぞ、よろしく申し上げます。

きむら ひかる

●森 敬洋 様 (2022/2023 年度入会)

こんにちは、佛教大学の森敬洋と申します。2022年まで立命館大学大学院の表象文化論研究室に所属、その後立命館大学衣笠総合研究機構客員協力研究員を経て、現在は佛教大学非常勤講師をしながら、丸善雄松堂株式会社の図書館事業委託にて、京都大学附属図書館で勤務しております。

もともとの専攻は哲学(精神分析周辺)でしたが、大学院～研究員時代にデジタルアーカイヴ事業に参加させていただいただけでなく、一回生向けの情報リテラシー教員として勤務させていただいたこともあり、図書館情報学の領域に身を置くことになりました。大学や図書館で働きながら、今は図書館職員の正規採用を目指して就職活動中です。恥ずかしながらこういった場に身を置き始めてまだ日が浅く、いろいろなことを現在進行形で勉強をしています。大学院時代に哲学を専攻したこともあって情報哲学などの議論に関心がありますが(最近ではジルベール・シモンドンという哲学者を読んでいます)、教員をしていることもあって、最近では大学教育における図書館利用法にも関心もあります。教員と図書館職員の垣根を超えて学生へ教育活動をする方法はないだろうか、よく考えています。

何せ昨年からは働き始めたもので、まだまだ経験も豊富ではありませんが、何かしらで貢献できそうでしたらご遠慮なくお申し付けください。よろしくお願ひいたします。

もり たかひろ (佛教大学)

◇ 会費ご納入のお願い ◇

会員みなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017年度(2016年7月～2017年6月)より、大学図書館研究会会費は、すべての会員の皆さまに、直接大学図書館研究会事務局へご納入いただくこととなりました。

一括徴収方式に移行いたしましたが、京都地域グループは年度継続の前に会費をご納入いただく前納があまり進んでいない状況でございます。ワンデイセミナーやグループ報は京都地域グループ費により開催・発行させていただいております。ご多忙のところ大変恐縮ですが、会費のご納入のほどよろしく願いいたします。

会費は、¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)/年度です。

【振込先】

郵便局 00190-2-79769 大学図書館研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019
■預金種目 当座 ■店名 〇一九(ゼロイチキュー店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)までご連絡ください。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。